

photo:支笏洞爺国立公園 登別地獄谷の冬 (一般社団法人登別観光協会提供)

日和山の噴火活動によってできた爆裂火口跡。直径は約450m、面積は約11ha。谷に沿って数多くの湧出口や噴気孔があり、泡を立てて煮えたぎる風景が「鬼の棲む地獄」の由来となりました。ここから多種類の温泉が1日1万トンも湧出され、温泉街のホテルや旅館に給湯されています。



日本医療機能評価機構

日本医療機能評価機構
認定病院

とおたるけあ

歯科口腔外科8020通信



新年のごあいさつ

新しい年を迎え厳しい寒さが続いております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

当院は一昨年、創立50周年を迎えることができました。これも長年に渡る地域の皆様のご支援の賜物であると、厚く感謝申し上げます。

近年、精神科医療を取り巻く環境は大きく変化し、病院は統合失調症の方が多く入院されていた時代から、認知症や感情障害、神経症性障害などの方が治療を必要とする場へと、時代の流れに伴って多様化してきています。

その大きな流れのひとつが地域移行です。患者様がお住まいの地域の中で安心して暮らしていくことができるよう、様々な支援を強化する必要があります。病気の中でも精神疾患はとりわけ、人と社会との関係の中での変化が大きく、家庭や職場、地域での生活そのものが深く関わってくることに特徴があります。当院においても生活訓練施設、訪問看護部門、グループホーム等の中間施設を充実し、行政・福祉関係等の支援機関との連携を通じ、地域の皆様からも多大なご協力をいただいで日々、努力を重ねて参りました。また高齢化社会の進展に伴う認知症医療も、その重要性を増していることは誰もが感じていることだと思います。

当院では院内に認知症疾患医療センターを設置し、地域包括支援センターとの連携を図りながら認知症全般についてご相談をお受けしています。治療が必要な場合や介護面に対して、医師や看護師をはじめとする職員が認知症について学び、相互に連携して業務に当たっていくことを心掛けております。

私どもはより良い医療、良い仕事を目指す集団でありたいと望んでいます。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

精神科診療部長 渡邊 伸弥

常勤医師 着任のごあいさつ

内科医師 柴田 まゆみ

平成28年11月より勤務しております。過去約10年間は急性期病院で働き、毎日分刻みのスケジュールで生活していました。慢性期病院のゆったりとした時間の流れに、人生の豊かさを改めて感じているこの頃です。

まだ病院内の決まり事がわからず、右往左往しております。1日でも早く慣れ、ご迷惑をおかけしないよう頑張ります。おかげさまで、病院内で迷子になることが減りました。どこかで迷子になりましたら、道案内でお世話になるかもしれません。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

香川大学医学部卒、日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会



第5回日本精神科医学会学術大会に参加して

医療福祉相談室係長・精神保健福祉士 竹内 亮平

『第5回日本精神科医学会学術大会』が平成28年11月16日、17日に宮城県の仙台国際センターで開催されました。上阪看護師より「刺激性のベクトル変換～長期隔離室生活からの離脱を目指して～」、私からは「長期入院者への退院評価基準における調査・研究～長期入院からの退院者と現存の長期入院者との比較検証から視えてきたこと」の2演題を発表させていただきました。

今回のテーマは「多難な時代の精神科医療～震災・医療経済・少子高齢社会……希望そして創造」。東北での開催ということもあり、シンポジウムや各講演は東日本大震災から学ぶ災害精神医学や今後の地域防災、原発事故に関する内容が多数ありました。昨年4月に起きた熊本地震による被害に関しても、精神科病院の視点からの報告があり、ニュースなどの報道だけでは知ることができない、現場の生の声や写真を拝見することができました。また「こころの復興支援」についても、まだまだこれからの課題であることが理解でき、震災時の精神科病院の役割を再認識することができました。

今回の貴重な経験をもとに、より一層今の時代に即した精神科医療の提供を目指し、地域住民の方々のニーズを把握することに努め、信頼される精神科病院であり続けることを目指してまいります。



認知症初期集中支援チームについて

登別市認知症初期集中支援チーム室長・社会福祉士 大塚 久也

平成28年10月1日より登別市から委託を受けて始動した「登別市認知症初期集中支援チーム」は、自宅にお住まいの40歳以上で認知症の方、または認知症の疑いがある方、尚且つ介護・医療サービスを利用していない方が対象となります。その他に自宅で認知症の方を介護し、対応に苦慮している場合等、当専門職チームが支援のお手伝いをさせていただきます。

チームには福祉・医療の専門職が必置で、社会福祉士と看護師、認知症の専門医が在籍しています。支援の流れは、相談窓口の「地域包括支援センター」に相談後、当チームへ介入の依頼があります。その後、自宅へ訪問させていただき、ご家族とご本人から話を伺い、専門的な視点を交えて解決方法を一緒に検討し、支援していきます。

発足して間もないチームのため、当チームの存在を知らない方も依然多くいらっしゃると思います。まずはこちらから地域にお伺いさせていただき「登別市にこんなチームがあるんだ」と知ってもらうことから進めていきたいと思っております。ご不明な点などがございましたら、お気軽にご連絡ください（お問い合わせ先：☎0143-83-5070）。



開院50周年記念式典・祝賀会を開催

庶務課主任 工藤 匡敏

平成28年11月13日に開院50周年記念式典・祝賀会を登別グランドホテルで開催し、関係者や取引業者の皆さま、職員などで半世紀の節目を盛大に祝いました。当院は昭和40年11月15日に開院し、昨年11月に開催する予定でしたが、同年6月に創設者の千葉壽良会長が逝去されたため、1年延期しての開催となりました。

式典では、千葉泰二理事長が法人の歴史を振り返り「職員との対話を重視し、チームワークを軸に両親が築いた法人を

絶やさず、地域に信頼され、愛される法人として継続できるように努力していきたい」とあいさつを述べ、東邦大学医学部の中野弘一教授、堀井学衆議院議員、小笠原春一登別市長からそれぞれ祝辞をいただいたほか、法人功労者表彰が行われました。

引き続き行われた祝賀会は鏡開きで開宴し、「三愛病院50年の軌跡」と題したDVDの上映を行ったほか、及川博史ストリングカルテットによる「弦楽四重奏の調べ」に耳を傾けながら、出席者の皆さんは思い出話に花を咲かせていました。



三愛病院教育・研修委員会主催

第8回院内研究発表会を終えて

精神科作業療法士 服部 志保

平成28年9月30日に開催された第8回院内研究発表会で「長期入院患者の退院への認識と退院阻害要因の関連」をテーマに発表させていただきました。

患者さんの退院を阻害する要因の傾向を知ることが目的で研究を行いました。アンケート結果にはばらつきがあり、退院阻害要因の多様性が浮き彫りとなる結果になりました。患者さんにとって意味のあるサポートをするには、個別性に沿った視点が必要であることを実感しました。

今回の研究にあたり、長谷川Drや駿河OTRをはじめ、部署を問わず様々な方からのご指導をいただきました。また、発表当日にも千葉理事長や福岡病院の東院長をはじめ、スタッフの皆様から貴重なご意見をいただき、大変勉強になりました。今回の研究を通して学んだことを臨床でも活かしていきたいと思っております。



東邦大学医学生2名が

地域医療実習のため来院

法人本部人事課

東京都にある東邦大学医学部の地域医療実習の受け入れも今年度で5年目を迎え、今年度は平成28年8月30日～9月2日までの4日間、2名の医学生が当院で実習を行いました。同大学は千葉理事長の出身大学で、客員講師を務めている縁もあり、実習生の受け入れを行っております。

今回の実習テーマは「高齢者及び精神障害者についての地域医療・介護を学ぶ」。期間中は入院病棟回診時や外来診療の陪席、当院看護師による採血などの臨床実習、内科実習や心理療法についての講義を受けるなど、幅広い分野で実習をしていただきました。

当院の恵まれた自然環境を活かしてグループで展開する精神医療や高齢者の包括ケアの現場にも触れていただき、2名の医学生には地域医療を体感していただくことができました。



登別漁港 鮭釣り



三愛病院は登別市中登別町に位置しています。近くには温泉や山があり、さらには海にも面している地域です。今回は、この自然豊かな登別市で働いているからこそ楽しめるレジャー・スポーツを紹介したいと思います。

秋から冬にかけてさまざまな楽しみ方がありますが、まず先に「鮭釣り」が挙げられます。この時季の鮭は「秋鮭（アキアジ）」と呼ばれ、鮭の中でも特に脂が乗って美味しいと言われています。三愛病院から車で5分程のところにある登別漁港をはじめ、登別市の両隣に面している室蘭市や白老町も有名な鮭釣りスポットとなっています。海に出なくても海岸沿いや埠頭からの投げ釣りで良型の秋鮭を釣ることができ、札幌市などからも愛好家が集まるほどです。

当院でも多くの職員が鮭釣りに熱中しており、年齢や職種に関係なく、早朝3時に集まる様子はまるで「三愛爆釣クラブ発足！」といった感じです（笑）



どうぞ仲間に入ってみませんか？
 これからも、三愛病院周辺の情報や当院職員の活動を紹介していきたいと思
 います。

（広報委員会）

photo:【左】 畠山 陵（医療福祉相談室）【右】 岩田 淳希（医療福祉相談室）

三愛病院職員 余暇活動紹介

第15回 三愛千寿まつりを開催

経理企画課主任 鈴木 啓司

平成28年9月6日に、あいにくの雨模様となりましたが「第15回三愛千寿まつり」を開催しました。当法人職員で構成する太鼓部「雅太鼓」のメンバーは、この日のために練習を積み重ねてきましたが、天候不良のため演奏が中止となってしまいました。非常に残念な結果となってしまいましたが、今年は快晴の下、力強い演奏を楽しみにしています。

プログラムは短縮しての進行となりましたが、デイケア利用者さんの合唱、新入職員によるダンス、民謡やフラダンスなどで会場は盛り上がり、患者さんも楽しんでいました。露店街では併設施設の就労支援センター・ピアチェーレによる焼きたてパンの販売のほか、焼き鳥や焼きそば、お好み焼き、綿あめ、かき氷、射的などの露店が並びました。また、参加できなかった患者さんにはお弁当も振る舞われ、全員でお祭り気分を満喫しました。



医療法人三愛病院野球部

応援ありがとうございました

医療法人三愛病院・野球部監督 上田 政樹

医療法人三愛病院野球部は昨年1月の冬季練習から天皇賜杯と北海道知事杯の連覇、そして国体の北海道代表を目標にスタートしました。5月に行われた天皇賜杯の室蘭地区予選を皮切りに負けられない戦いが始まり、予選については苦戦もありましたが、全て北海道大会の出場を果たしました。しかし、国体は3回戦で敗退し、天皇賜杯と北海道知事杯は決勝戦に駒を進めながら惜敗

し、悔しい結果となってしまいました。

今年も1月より全国大会出場を目指して練習を再開しております。日頃からご協力、ご声援をいただいている法人職員、そして地域の皆様に良いニュースを届けることができるようチーム一丸となって、北海道No.1を目指して頑張っていきたいと思っております。





80歳まで20本の歯を保つために

歯科口腔外科8020通信

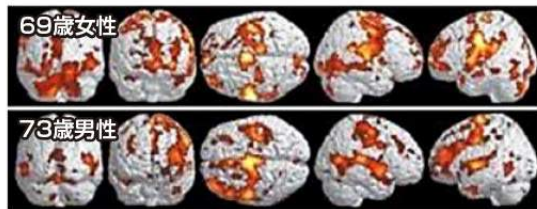
第25号

歯周病菌はインフルエンザ感染を重症化させます!

日本口腔保健協会ホームページ 歯周病菌はインフルエンザウイルスを粘膜に侵入しやすくする酵素(プロテアーゼやイラミニダーゼ)を出します。また、歯周病菌由来の酵素は抗ウイルス薬で抑制できないため、口腔内を不潔にしておくとうインフルエンザ感染を助長します。特に免疫力の弱い高齢者はインフルエンザが重症化する可能性があります。

冬こそ歯科治療を受けましょう!

しっかり咀嚼ができるようになる
⇒脳が活性化する!



Onozuka et al; In Novel Trends in Brain Science, 2008

◀ガム咀嚼後の脳のファンクショナルMRI

左の写真はガムを咬んだときの脳の血流状態を表したものです。時に高齢者は咀嚼をすることで脳の血流が増加し、脳が活性化することが明らかになっています。現在、かみ合わせが悪い方、義歯が合っていない方は要注意です。できるだけ速やかにしっかり咬めるように歯科を受診しましょう。

平成27年2月15日 毎日新聞より

タミフルなどの抗ウイルス薬を効きにくくします



歯周病菌はウイルスの増殖を助ける

豆知識 江戸時代には入れ歯はあった!

江戸時代にはすでに木彫りの義歯(入れ歯)が使用されていました。前歯はヒトの歯を貼り付け、臼歯(奥歯)部は釘などで補強されるなど工夫されていました。

しかし、当時、義歯を使えるのは将軍などの地位の高い人に限られていたそうです。江戸時代でもよく咬むことはとても重要とされていたことが分かります。

今は江戸時代から約150年後の平成時代です。現在も「歯も入れ歯も必要ない!」という方がいらっしゃいますが、当時の将軍がこれを聞いたら恐らくびっくりすると思いますよ!



平成22年度厚生労働科学研究



歯を失うと認知症のリスクが最大1.9倍に!

歯数が少ないほど、咀嚼能力が低い人ほど、かかりつけ歯科医院がない人ほど認知症発症の割合が高いことが判明しております。

【調査対象】 要介護認定を受けていない65歳以上の4425名

【調査期間】 4年間(2003年~2007年)

【調査内容】 要介護認定を伴う認知症度Ⅱ以上が発症するまでの日数と歯数、咀嚼能力、かかりつけ歯科医院の有無との関連性

三愛病院 歯科口腔外科【予約制】

歯科直通電話

0143-83-3991

【診療時間】 月曜日~金曜日 / 9:00~12:30, 13:30~17:00
土曜日(隔週) / 9:00~12:00

【休診日】 隔週土曜日、日曜日・祝日

【歯科医師】 五十嵐 友彦
医学博士、日本口腔外科学会認定医・専門医、
日本顎顔面インプラント学会専門医、
厚生労働省認定歯科臨床研修指導医



彩食健人

栄|養|通|信
さいしょくけんじん

高たんぱく質、
低カロリーの健康食品

豆腐



豆腐の話

豆腐は「畑の肉」と呼ばれる大豆を主原料にしているため、その栄養的特徴をほとんど受け継いでいます。必須アミノ酸をバランスよく含んだ良質のたんぱく質をはじめ、コレステロールを代謝するリノール酸、ビタミンB1、E、カルシウム、亜鉛、カリウムなど有効成分がぎっしり詰まっており、これらは動脈硬化、糖尿病などの生活習慣病、老化防止に働く成分です。また、大豆オリゴ糖が主成分になっている糖質も含まれており、これは腸の働きを整えて活性化させ、消化吸収を助ける作用を持っています。消化の悪い大豆も、豆腐になれば口あたりがよく、消化率が95%とグンとよくなります。

今回は豆腐を使ったヘルシーデザート / 豆腐のティラミスをご紹介します。

生クリームやクリームチーズを豆腐に変えることで、カロリーを160kcal減らすことができます。冷やして食べることで、豆腐だとわからないほどおいしく召し上がれます。是非一度お試しください。

材 料 (2個分)

- 木綿豆腐……………150g (1/2丁)
- ココアパウダー……………小さじ1~2
- メープルシロップ……………大さじ1、小さじ1
- レモン汁……………小さじ1/2
- 塩……………少々
- バームクーヘン……………60g
- インスタントコーヒー……………小さじ1/2~1
- 湯……………大さじ1



【豆腐のティラミスの作り方】

- 1 豆腐に重しをして、しっかり水きりをする。さらにふきんなどに包み、手できつくしぼる。
- 2 ボールに豆腐とメープルシロップ(大さじ1)、レモン汁、塩を合わせ、ゴムべらで豆腐をつぶすようにしてよく混ぜる。
- 3 バームクーヘンは手でひと口大にちぎる。インスタントコーヒー、メープルシロップ(小さじ1)は合わせて混ぜて、バームクーヘンにかける。
- 4 器に②と③、ココアを交互に重ねて冷蔵庫で冷やす。

平成29年3月12日(日)より 改正道路交通法が 施行されます

現行では、75歳以上の高齢ドライバーに対し、3年に一度の免許更新時に認知機能検査を実施しています。改正に伴い、免許更新時以外に信号無視や一時不停止などといった認知機能が低下した時に起こしやすい18項目の違反行為をした場合、「臨時認知機能検査」が義務づけられます。検査の結果、認知機能の低下の恐れがあると診断された場合には「臨時高齢者講習」(個別指導、実車指導)の受講や、認知症の恐れがあると判断された方は臨時適性検査(医師の診断)を受け、または命令に従い主治医等の診断書を提出しなければなりません。

※医師の診断の結果、認知症と判断された場合は運転免許の取り消し等の対象となります。

(参考 / 警察庁・都道府県警察作成リーフレット)



特定医療法人社団千寿会 日本医療機能評価機構認定病院・認知症疾患医療センター

三愛病院

〒059-0493 北海道登別市中登別町24番地12

☎0143-83-1111 FAX.0143-83-1361

http://www.sanai-hospital.or.jp

E-mail:post@sanai-hospital.or.jp



歯科口腔外科 ☎0143-83-3991 医療福祉相談室 ☎0143-83-3207 地域生活支援室 ☎0143-83-3572
精神科デイケア ☎0143-83-2520 認知症疾患医療センター ☎0143-83-3207 認知症別冊集中支援チーム ☎0143-83-5070



受付時間 平 日 / 午前8時30分~午前11時30分、午後1時00分~午後4時30分 ※午後は予約となります。
土曜日 / 午前8時30分~午前11時30分

診療科目 精神科・老年精神科・内科・老年内科・心療内科・循環器内科・消化器内科・リハビリテーション科・皮膚科・泌尿器科・眼科・漢方外来・歯科口腔外科・歯科

- | | | |
|------------------|------------------------|---------------------------------|
| 併
設
施
設 | ● 介護老人保健施設 グリーンコート三愛 | ● 就労支援センター ピアチェーレ |
| | ● 高齢者グループホーム プラタナス三愛 | ● 障害者グループホーム アザリア |
| | ● 高齢者グループホーム みずばしよ | ● 障害者グループホーム カワセミ(翡翠)・ヤマセミ(山翡翠) |
| | ● 小規模多機能型居宅介護事業所 みずばしよ | ● 登別市総合相談支援センター en |

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| ● トータルケアセンター あおい(愛桜) | ● 室蘭市相談支援センター らん |
| ● 指定訪問看護ステーションあおい | 【関連施設】 |
| ● 登別市地域包括支援センターあおい | ● 社会福祉法人登別千寿会 特別養護老人ホーム 緑風園 |
| ● 指定居宅介護支援事業所あおい | |
| ● ヘルパーステーションあおい | |